

# ビキニ被災支援 室戸の会

## ニュース 2023年09月30日 No.54

発行 ビキニ被災を支援する室戸の会 太平洋核被災支援センター  
連絡先 事務局 宿毛市 088-066-1763(山下) 室戸の会 0887-35-8725(濱田)



### 1954年のビキニ水爆実験の後、 室戸の船はどこで操業していたのですか

以前、室戸の会ニュースNo.39(2021.08.15)でクリスマス島の水爆実験の抗議船としてクリスマス島の海域に行った第7 幸鵬丸のことについて紹介しました。このことは、太平洋上での核実験はマーシャル諸島で行われていただけではなく、クリスマス島やハワイ近くのジョンストン島でも核実験が行われていたこと、また、時間的にも1954(昭和29)年だけではなく、1946年から1962年まで核実験が行われていたことを教えてくれています。ちなみに、南太平洋にまで視野を広げるとキリバス島やムルロア環礁などではフランスも核実験を行っていました。

1954年のビキニ水爆事件後、室戸のマグロ船はどこで操業していたのかが気になっています。

1957年1月にイギリスは、クリスマス島で核実験を行うと通告後、高知新聞では遠洋漁業に関する記事が多くなっています。その中に次のような記事がありました。

「現在高知県漁協に登録されているマグロ漁船は152隻。このうち200t以上5隻、100t以上40隻、合計45隻がこの水域から南方方面で操業している。」(1957年1月13日高知新聞)。

「(旧室戸町の)所属船は56隻。隣の津呂より20隻少ないが、大方が多いのでトン数ではずっと多い。今全部出漁中だがクリスマス島付近で操業している船はない。インド洋からバンダ海へ15~16隻、マーシャル諸島付近へ10隻前後。パラオ、トラック島周辺で15~

16隻、近海へ7~8隻。」「(旧室戸町の)所属船は75隻中、クリスマス島を普通の漁場としている船が20数隻(中略)クリスマス島周辺では、室戸の船は年間20億円以上の漁獲高を上げている。」(高知新聞2021.4.29)。

ビキニ事件からわずか3年後、マグロ船はどこで操業していたのか、三つの特徴があるように思います。一つはインド洋の方に操業場所を求めていったこと。これは船の大型化を進めた旧室戸町の船に多いようです。もう一つはクリスマス島に漁場を求めていること。これは比較的小さな資本で効率的と判断した旧室戸町の船が多いようです。そして、もう一つはパラオ周辺、そしてマーシャル諸島周辺にも行っていたということにも驚きます。

1957年の操業場所	旧室戸町の船	旧室戸町の船	その他
インド洋・バンダ海	15~16隻	?	
マーシャル諸島付近	10隻前後	?	
パラオ・トラック島付近	15~16隻	?	
クリスマス島付近	なし	20数隻	
合計	56隻	75隻	21隻

## クリスマス島方面で操業していた船

クリスマス島周辺海域の様子について、当時の朝日新聞(1957.5.16 東京夕刊)が「クリスマス島東方に60~70隻?高知からも5隻」という見出しで報道しています。5隻は大土佐丸(74t)、嘉栄丸(83t)、末広丸(94t)、進栄丸(60t)、海昌丸(44t)と報じられています。このほかにも、第7幸鵬丸、第3良栄丸も高知新聞に報じられています。

クリスマス島周辺の海域は、マーシャルからさらに3000キロ離れたところにあります。1954年の所謂ビ

## 第8達美丸について

1954年当時、第5海福丸に乗っていた小笠原さんは、1954年8月から室戸の第7達美丸(76t)に乗っています。このころ歯磨きすると歯ぐきから出血があったと言います。そして1956年5月から1957年7月まで第8達美丸、に乗っています。当時、達美丸はどこで操業していたのでしょうか。

第8達美丸に乗っていたと思われる船員さんを訪ねましたが、室戸では当時の船員さんにはなかなか会うことができません。船主さんの親戚の方に会うことができ、話を伺うと、「もう知っている人も亡くなりましたね、私も詳しいことはわかりません。あの時はビキニのことは“言われん”ことになっちよりましたね」という話をしてくれました。そんな中、元船員のSさんに会うことが出来ました。小笠原さんから、Sさんとは町であったことがある、と聞いていました。次のような話をしてくれました。

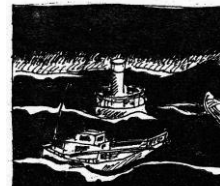
私は17歳から船に乗って、2年目に水爆実験に遭ったと思います。……新生丸が東京に入港すると、みんなが甲板に集められました。白い服を着てガイガーカウンターを持った人間が、10分が20分くらい、船のぐるりと全部の人間の体に当てただけでした。……ビキニ事件から数年後に、私は第8達美丸という船で、クリスマス島に行きました。その時に、原爆の光を見たんです。夜8時やったと思います。きれいな晴天のはずやのに、稲光みたいな光が走りました。稲光というよりか青白い閃光で、目に応えるような光でした。他の人間が「こりゃ原爆ぞ!」いうて冗談めかして騒いでおりました。その後、5分が10分くらいする前に、水平線が赤くなったんですよ。太陽が沈むみたいな、丸井太陽の倍もあるような大きな塊が浮かんでね。「あーやっぱり原爆やったねえ」いうて、騒ぎ

キニ水爆実験で漁場をおわれ、必死の思いで開拓した新たな漁場だろうと思います。それにも関わらず再び水爆実験に見舞われたことに何とも言えない悔しさと怒りを覚えます。そしてそのことの補償もないままです。

このように、1954年のビキニ、1957年のクリスマス島の水爆、そして1962年まで続く核実験。いったい何度「被ばく」させられるのでしょうか。これらの実態はほとんど明らかにされていません。元船員のみなさんや、関係者のみなさんの証言をぜひともお願いします。

「あの年の一回目と二回目の航海の時だと思う。大阪に水揚げをしていた。船主からは“船を洗え、体も綺麗にしろ”と無線でいってきていました。水揚げするときにはバショウカジキなどが検査に引っかかって、確か、潮岬の方へ行って捨てたと思う。被ばくするというようなことは、その時はそんなに心配していなかったね。冗談で“魚は食われんぞ”というようなことは言っていました。」

気にしていたら、いろんなことが引っかかってくるもので、「ビキニ核被災ノート」という本を読んでいた時に「第8達美丸」という文字が飛び込んできたのです。この本は、船ごとに船員さんの証言をまとめたものですが、その目次の中には「達美丸」はなかったのですが、これまで見過ごしてきたのです。「新生丸」に乗っていた山下幸男さんという方の記録の中に「第8達美丸」のことがあったのです。その部分を紹介します。



よったら、それがドンドン膨れ上がって、空一杯に広がるにつれて薄うなっていき、そして消えたんです。それから20～30分後、夜なのでライトをつけて操業しました。そのライトの光に、雪みたいな粉がチラチラして、「こりゃ死の灰や」言うて騒ぎました。怖がってはおらざったけど何か気持ちが悪うて、船の陰に隠れた記憶があります。2～3分、もしかしたら5分も続いたかも。すぐに晴れましたけど。」(「ビキニ核被災ノート」2017 137頁)

山下さんは、宿毛から吉村義見さん、松村正義さん、井上文雄さん、吉村勲さん、岡村清美さん、伊与田信夫さんの6人の仲間と一緒に新生丸に乗り込み、その後、第8達美丸に乗り換える時も一緒にしました。4人が癌を発症し50歳台～60歳台で亡くなりました。他の三人も心臓や血管などの病気で亡くなりました。Sさんも、山下幸男さんたちのことはよく覚えていと話してくれました。

※右の資料は戦後船を進水させたことの記録です。室戸岬町ではビキニ事件後も30t～100tのマグロ船を多く造っていたことが判ります。このような中型船はパラオ、マーシャル、クリスマス島周辺で操業していたと考えられます。

年	船名	総数	～30	31～70	71～100	101～150	151～200	201～	許認可隻数(全国)	※左の数字はトン数
1946	S21	1		1	0	0	0	0		
1947	22	12		5	5	0	2	0		
1948	23	9		1	8	0	0	0		
1949	24	13	3	5	5	0	0	0		野島沖最盛
1950	25	6	3	1	2	0	0	0		野島沖最盛
1951	26	13	1	11	1	0	0	0		南方進出増える
1952	27	6	0	6	0	0	0	0		マッカーサーライン撤廃
1953	28	8	0	5	1	2	0	0		焼津出張所 マグロ漁業許可特例法→大型化
1954	29	15	0	5	6	4	0	0		ビキニ水爆事件
1955	30	6	0	0	2	0	4	0		
1956	31	6	0	2	2	1	1	0		
1957	32	13	0	4	9	0	0	0		クリスマス島水爆
1958	33	10	0	2	8	0	0	0		
1959	34	13	0	5	5	0	0	3		
1960	35	31	0	27	2	0	1	1		
1961	36	22	0	14	1	0	0	7		焼津常駐出張所
1962	37	10	0	53	1	0	0	4		
1963	38	22	0	4	1	2	10	6	1409	漁業法一部改正→本格的大型化
1964	39	22	0	0	0	2	2	14		
1965	40	6	0	0	0	0	3	3		
1966	41	5	0	0	0	0	0	5		
1967	42	9	0	0	0	0	1	9	1286	
1968	43	13	0	1	0	0	0	12		
1969	44	18	0	1	0	0	0	17		
1970	45	22	0	0	0	0	0	22		
1971	46	11	0	0	0	0	0	11		
1972	47	11	0	12	0	0	0	10	1245	
1973	48	15	0	1	0	0	0	14		
1976	51								1276	
1987	62								932	

# 高知県主催のビキニ関連健康相談会がおこなわれます

高知県では2015年から資料のような「健康相談会」を行っています。今年は室戸会場は11月7日になっています。ぜひとも参加して健康不安などを相談しましょう。またつながりもつくっておきましょう。

2023.9.28

## ビキニ環礁水爆実験に関連し健康不安を抱かれている方のための健康相談会(案)

### 1 概要

ビキニ環礁水爆実験に関連して健康不安を抱かれている方及びその家族の不安軽減を図るため、地域の医師等による健康相談及び健康講座、また、交流会を実施する。

### 2 実施主体

高知県健康政策部健康対策課(以下「健康対策課」という。)

### 3 対象者

高知県に在住し、ビキニ環礁水爆実験に関連し健康不安を抱かれている方及びその家族(以下「相談者」という。)

### 4 日時・場所

令和5年11月7日(火)13:00~14:30 室戸市保健福祉センターやすらぎ

令和5年11月8日(水)13:00~14:30 土佐清水市社会福祉センター

※ 令和5年度は個別の健康相談を本相談会内で実施する。

### 5 健康相談会の内容

地域の医師等による健康相談及び健康講座、また、交流会を実施する。

※ 健康対策課は、健康相談会の実施について、各福祉保健所、高知市保健所及び市町村等に周知する。

※ 地域の医師等の選定にあたっては、健康対策課に誓約書(様式4)を提出した者とする。

### 6 地域の医師等

室戸市:菅沼 成文 氏(高知大学教育研究部医療学系連携医学部門 教授)

土佐清水市:佐沼 興一 氏(高知医療生活協同組合 四万十診療所 ※現在休止中)

### 7 健康相談の実施方法

① 健康相談を希望する者は、健康対策課に申込書(様式1)及び健康相談における個人情報の提供等に関する承諾書(様式2)を提出する。

② 健康相談会の実施後、地域の医師等は相談記録簿(様式3)を作成し、健康対策課に提出する。

※ 相談記録簿(様式3)については、関係法令に従い、健康対策課において保管する。また、健康相談会の実施後、相談者が所在地を管轄する福祉保健所、高知市保健所及び市町村等の関係機関に相談を行う際には、健康対策課は承諾書(様式2)の内容に応じ、必要な情報を関係機関に提供する。

### 8 報償費

別紙に基づき、原則として相談を行った医師等に支払うものとする。

### 9 問い合わせ先

高知県健康政策部健康対策課

電話 088-823-9678 (担当 安達・西岡)